

## 令和7年度第1回古賀市公民館運営審議会会議録

【名称】 令和7年度第1回古賀市公民館運営審議会

【日時】 令和7年6月5日(木) 19時00分～20時00分

【場所】 リーパスプラザこが交流館 103洋室

### 【出席者】

公民館運営審議会委員

末次威生会長、吉田義徳副会長、

富山巽委員、梯裕子委員、山本節子委員、伊藤綾委員、

柴田智子委員、原絵美委員、岡田征和委員

事務局

教育部長 桐原誠、生涯学習推進課長兼中央公民館長 樋口武史

参事補佐兼公民館係長 神永真一、他職員1名

【傍聴者数】 0名

### 【内容】

#### 1. 開会のことば

生涯学習推進課長兼中央公民館長が開会のことばを述べる

#### 2. 教育委員会あいさつ

教育部長があいさつを述べる

#### 3. 委嘱

教育部長から委嘱書の交付

#### 4. 委員自己紹介

事務局自己紹介

#### 5. 会長・副会長の選任

全員一致で会長に末次威生委員が、副会長に吉田義徳委員が選任される。

以降の議事進行は末次会長が行う。

#### 6. 付議事項

##### (1)リーパスプラザこが施設利用状況について

〔事務局説明〕別紙2のとおり

〔委員からの意見等〕

(委員)利用者数は分かったが、利用団体について、どういった団体が活動をされているかを教えていただきたい。

(事務局)ダンス室でダンスをする団体、音楽室でコーラスや楽器の演奏をする団体が多い。

(委員)ダンス室を借りるときにすでに予約が入っており、借りられないことがあるため、ダンスをしている方の利用が多いと思った。中央公民館の大ホールの利用が多くなっている理由は分かるか。

(事務局) 令和5年度と令和6年度を比較すると、中央公民館の利用者数が増加しているが、主に大会議室の利用の増加によるもの。大ホールの利用人数は令和5年度と令和6年度であまり変化がない。

(委員) 大ホールが使われている印象。コンサートや講演会など、後は練習にもよく使われていると思う。駅も近いし利便性が良いから増えているのかなと思う。

(事務局) 利便性の良さについて、北九州の中学校が福岡市内の吹奏楽の大会に出場するにあたり、一度リーパスプラザによって練習をしてから行く、という使い方をされていた。また、通信制の学校の入学式、卒業式に毎年利用していただいている。利便性が良いとのご意見をいただいている。

(委員) せっかく施設があるため色々使っていただいた方が良い。

(委員) 次年度で良いのでどういった活動に使われたか資料に加えてほしい。「使いませんか」、「こんな使い方がありますよ」と案内しやすい。利用者の年代の割合が知りたい。乳幼児のお母さんなどの若い年代がどれくらいリーパスプラザとつながっているか気になる。

(事務局) 利用者数等については社会教育振興係が所管しており、また、年代まで把握できる仕組みがなく把握できるか分からないがご意見として承る。

(委員) 利用者数はどのように集計しているのか。

(事務局) 集計方法がそれぞれ異なっているが、図書館であればゲートに記録する装置があり、そこを通った人数をカウントしている。歴史資料館であれば、閲覧しているところの受付人数、交流館や中央公民館は何名で使用するという申請から人数をカウントし集計している。

(委員) 高校生が勉強されていることが多いと思うが、自習室やフリースペースの利用者数は含まれるのか。

(事務局) 一定数の人数を毎年計上している。

(委員) 歴史資料館の利用者数について、図書館に来たついでに寄っている人が多いのかなど、利用の仕方を知りたい。

(事務局) 歴史資料館の利用者数のうち貸館は中会議室であり、何名で使用するという申請から人数をカウントし集計、残りはギャラリーの展覧の受付人数をカウントし集計している。

(委員) 歴史資料館が寂しいと思った。他市町村では図書館と歴史資料館一つの建物ではなく、それぞれ独立した建物になっているところがある。古賀市もそれができないか。古賀市も色んなものが発掘されるなかで、まだ認知されていない部分も多いと思うため、多くの人に認知してもらいたい。

## (2) 公民館系の事業について

[事務局説明] 別紙3・別紙4・別紙5のとおり

[委員からの意見等]

(委員) 分館教養学級の要件を変更しているようだが、分館教養学級の申請見込が減っている原因は何か。また、令和7年度から少人数学級が新設されているがどこか取り組んでいる行政区はあるか。

(事務局) 令和6年度から令和7年度にかけて2学級減になっている。長期的にみると、平成20年代は38学級程度あり、だんだんと高齢化、コミュニティの希薄化等により減少している状況である。少しでも分館教養学級のスタートアップに活用いただきたいということや、行政区の人数が少ないところが20人集めるのが難しいといったご意見を踏まえ、地域で自分たちの生活課題などを解決していこうという学級を市としても大切にしているため新設した。初年度であり、4月に説明したばかりであるため、今後スタートアップとして活用していただければと思う。少人数学級の動きについて、舞の里5区から相談があったが、20人以上で学級が編成されたことから、通常学級が1つ増えたという状況になっている。

(委員) 昨年まで、久保西区で分館主事をしてきた。教養学級を作るのが難しい、要件が厳しいということもあり教養学級を作っていなかった。学級活動をしたかったが、特に学級活動の役員になり手が

ない。負担になるため、活動をするような働きかけができなかったが、少人数学級ができて良かったと思う。

(委員) 役員のなり手について、高齢化が進んで地域活動をされている方が年々減っている。なり手が無い情報は上がってきているか。

(事務局) 公民館係にも相談がきている。分館長等の仕事の内容に関することや区の行事が多いのではということなど、様々な相談がある。区長にも共有、相談しご理解いただきながら対応している。長期的に見て分館長、分館主事の職について、見直しをしなければならない時期ではという意見があり、検討中である。

(委員) 古賀市の中で分館活動をしていないところはあるか。公民館を持っていないところもあると思うが。

(事務局) 公民館を持たない区について、もともと大きな行政区で分割し、分かれた場所に公民館がない区で、元の公民館を間借りして分館活動している状況のところがある。分館活動をしていない区について、病院区は8世帯となっており、2事業以上の分館活動をすることが難しいという相談を受けている。

(委員) 病院区のみ分館活動をしていないということか、北花見区はしているのか。

(事務局) 病院区のみである。北花見区は集会所でしている。

(委員) 千鳥東区は公民館がないが分館活動をしているのか。

(事務局) 分館活動をしている。

(委員) 古賀東区公民館は営利目的でやっているのかという意見がある。区内で利用しようと思っても習字教室、そろばん教室など予約が入っていて使えない。駐車場も市役所が隣接していることもあり、予約が入りやすい。区民の方が大いに使えるような施設が公民館ではないか。老人会やシルバーという高齢者ばかりの会合だと思われるため、名前を若葉会に変えた。今年から若葉会で公民館を利用しようということで、8~9人で音楽、歌の練習を週に1回始めるようになった。そういう活動をするのが公民館。今にあった公民館の利用法を委員の皆さんにも考えていただきたい。

(委員) 地域の公民館を育成会活動で使っている。その一つ前の乳幼児やそのお母さんが公民館など歩いて行けるところで集えたらよいと思う。お母さんたちの力だけでは地域の公民館ではつながりにくい、リーパスプラザであればお母さん同士で集まって何かしたいと聞くことがある。分館活動には支援がある。リーパスカレッジで自主的にグループが始まっていると思うが、ここに何か支援、応援はあるか。集まることの意味をお母さんたちが感じ、それをもって地域にかえる。第一歩を踏み出すための方策がないか教えてほしい。

(事務局) リーパスカレッジでは乳幼児やそのお母さんを対象にした講座もある。そこからお母さん同士でつながって地域でも同様の講座をしようということがあれば、リーパスカレッジの講師は地域の公民館でも講師をしても良いという前提で引き受けていただいている。講座を企画することで地域に広がったり、受講生同士でつながったりすることが可能、引き続き支援など検討していきたい。

(会長) 日吉台について、青少年や子どもたちのつながりより、シルバーの団体の方が力が強い。役員をされる方や積極的に動く方が、古賀西小の子どもたちと昔の遊びなどをする。活動の一環としてそこに地域の方も呼ぶ。昔とは違い、学校とのつながりで活動を実施するというケースが出てきていると思う。地域の方で意識のある方が旗振りをしていく。乳幼児に関することはサンコスモが中心になると思うが、そこからリーパスプラザや公民館活動にも広げていくなど、連携した活動があっても良いかもしれない。

(委員) 久保西区は今若い組長が多い。組長の中から久保西公民館は使い勝手が良いが、大人の利用が多く、使ってほしい小さい子どもをもつ親子の利用が少ないと言われた。久保西区では大人だけでなく、子どもにも気軽に集まってほしいという思いから実行委員を募って10名程度で「チャレンジ教室」というものを作った。事業を企画する中で大人だけではなく小さな子どもも気軽に集まってお話し会などをしてほしいということで、昨年から考えて、先日1回実現した。参加者は少なかったが6組の親子が参加。お父さんが絵本を読んだり親子で遊んだりというもの。続けていきたいため、久

保西区でも予算をつけている。予算が足りなくなる可能性があるため、コミュニティ活動補助金に応募している。

(会長)先日古賀市にはリーパスプラザというこんな良い施設があったのですねと声をかけていただいた。大変感心していた。まだ浸透していない部分もあると思う。

(委員)地域で様々な支援があり、様々な活動をされていると学ばせていただいた。古賀西小学校区でも様々な区、公民館で、地域の活動に子どもたちも参加させていただいている。参加ができるような支援をしていただいていることも大変ありがたいと思う。

(委員)公民館活動を色々されているが、高齢者の中には歩いて公民館まで行けず、家に引きこもっているという現実が多くある。そういう方が集える場がなく、行政区の中でどうすればよいかと考えると、ころもあれば、仕方ないとそのままになってしまっている行政区もあることを知ってほしい。

(委員)先ほどのチャレンジ教室の続きになるが、夏休みに寺子屋をする。そこに高齢者を呼んで一緒にラジオ体操をする。その後、子どもは学習、高齢者は見守りをする。子どもと高齢者をつなげようという取り組みである。

(委員)赤ちゃんが早く目覚めたため、外を散歩していると、ラジオ体操をしているご高齢の方々がいて皆さんが赤ちゃんをととても歓迎してくれたという話を聞いた。お母さんもまた行きたいと言っていた。世代間を超えて、そうやってチャンスがあれば、つながることができると思う。色々な公民館でどういった活動をされているのか、この審議会でも知ることが多い。どこで何があっているか、工夫していることなど知る手段があればよいと思う。

(委員)県の公民館大会に参加することが良いと思う。昨年参加して自分のところは何もできていないのではと反省した。区長等に他の公民館の活動に関する情報を共有した。今まで実施していた活動がコロナ以降、止まってしまったままのものもある。少しずつでも良いから取り組みを再開して盛り上げていきたいと思っている。

リーパスプラザを拡張してほしい。ホールのキャパシティが小さい。最低でも1,000人以上のキャパシティがないと良い人は呼べないと思う。多くの方に宗像や福津、新宮ではなくて古賀にも来てほしい。駐車場も問題。駐車場とホールを拡張してほしい。そういう時代にあったリーパスプラザになってほしい。

## 7. その他

### (1)各委員から

なし

### (2)事務局から

- ・8月2日立川談春の落語(社会実験)の案内
- ・8月22日公民館大会(研修)の案内

## 8. 閉会のあいさつ

副会長から閉会のあいさつ